

# ミッション志向で 社会変革型イノベーションをどう進めるか？

## DETAILS

時間 18:30 – 20:00  
日程 2022年7月11日 (月)  
会場 Zoom ウェビナー  
言語 日本語

## SPEAKER & MODERATOR



小山田 和仁

国立研究開発法人科学技術振興機構  
研究開発戦略センター (CRDS)  
フェロー

## DISCUSSANT



井上 諭一

内閣府  
科学技術・イノベーション推進事務局  
事務局長補

## SciREX Seminar #41

社会課題解決はこれまでも我が国の科学技術イノベーション (STI) 政策の重要な柱でしたが、近年では社会変革までも視野に入れたより広範な取組みが求められるようになってきました。このような社会変革型のイノベーションを進めるために、現在欧州を中心に取組みが進められているのが、「ミッション志向型STI政策」です。

ミッション志向型STI政策では、カーボンニュートラルの実現や高齢化社会への対応など社会変革を伴う長期戦略の実現に向けて、政府が達成期限を定めた明確な目標 (ミッション) を設定し、規制や調達などを含む多様な施策・事業を総動員します。これにより研究開発の成果の活用とイノベーションを牽引していきますが、その実現のためには、社会課題に関係する分野担当省を含む省庁横断的調整が必要であり、また多様なステークホルダーの主体的かつ多様な取組みを巻き込んでいくことが不可欠です。そのため従来のSTI政策の枠組みを超えた取組みが求められます。

今回のウェビナーではJST-CRDSから発表された戦略プロポーザル「ミッション志向型科学技術イノベーション政策と研究開発ファンディングの推進」の執筆者とSTI政策の総合調整を担う内閣府科学技術・イノベーション推進事務局から登壇者をお招きし、今後どのようにしてミッション志向型STI政策を推進していくことができるのかを議論します。

### お問い合わせ

政策研究大学院大学 (GRIPS)  
科学技術イノベーション政策研究センター  
scirex-center@grips.ac.jp

参加登録はこちら

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_xRHxfLotTkO716VXe23PuA](https://zoom.us/webinar/register/WN_xRHxfLotTkO716VXe23PuA)

# SPEAKER and DISCUSSANT



**小山田 和仁**

**国立研究開発法人科学技術振興機構**

**研究開発戦略センター（CRDS）フェロー**

東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了。産業技術総合研究所、日本学術振興会、政策研究大学院大学等において、政策研究プロジェクト、研究戦略立案、国際交流事業等に従事。2017年より現職。専門は科学技術イノベーション政策、科学技術社会論。経済協力開発機構（OECD）科学技術政策委員会（CSTP）におけるミッション志向型イノベーション政策に関する国際調査プロジェクトに参画。この他、OECDグローバルサイエンスフォーラム（GSF）「危機時における科学動員: Covid-19パンデミックからの教訓」等複数の国際プロジェクトにも参画。

**ミッション志向型科学技術イノベーション政策と研究開発ファンディングの推進  
JST-CRDS 戦略プロポーザル/CRDS-FY2022-SP-01**

<https://www.jst.go.jp/crds/report/CRDS-FY2022-SP-01.html>



**井上 諭一**

**内閣府科学技術・イノベーション推進事務局**

**事務局長補**

1991年の科学技術庁入庁以来、科学技術分野を中心に行政官を務める。これまで、日本の地震調査研究体制の整備、スーパーコンピュータ「京」の開発、海洋資源調査システムの開発、給付型奨学金の創設などに従事。2001-2004年には、在ドイツ日本大使館で科学アタッシュを務める。現在は、大学ファンドの構築、ムーンショット型研究開発の推進、AI戦略の策定などを担当。G7科学大臣会合シエルパ。